学校番号　中３２　　福平中学校
作成日　令和　７年　７月　１８日

令和７年度学校評価　自己評価書　（１学期）

１　学校重点課題

(1) 確かな学力の獲得
(2) 人権尊重を基盤にした実践的生徒指導の充実
(3) 地域と共にある学校づくり

２ 課題と改善策

	項目	評価結果 （職員：4段階）	改善方策等
読書指導	20 読書量の向上に努めたか。（図書室の利用の啓発等）	2.7	図書室の整備を推進し，生徒が訪れやすい図書室運営を実践する。
連携協力	30 地域行事・PTA活動へ積極的に参加したか。	2.8	コロナ後の地域行事への参加やPTA活動の在り方を関係者と共に検討する。
授業改善	05 知能検査，学力検査，定期テスト等の結果を分析し，活用を図ったか。	2.8	基礎学力が不足している生徒に対し、その子にあった課題を与えるなど個に応じた指導をさらに進めていく。
授業改善	04 学習の躾けと習慣化の徹底が図られているか。（立腰，寝かせない，忘れ物等）	2.9	・学級通信等を使って家庭学習（120分）の習慣化を協力依頼する。 ・学習環境の整備（教室の整理整頓）
授業改善	06 習熟に応じた授業の実践（学習目標，発問・板書，まとめ，個別指導）に努め，生徒に成果が見られたか。	2.9	基礎学力が不足している生徒に対し、その子にあった課題を与えるなど個に応じた指導をさらに進めていく。
道徳教育	09 道徳の資料を整備・分析・活用し，内面化を図った授業が展開されたか。	3.0	校内研修等で再確認する。
進路指導	23 自己理解を深め，自己実現を図らせるための適切な進路情報の提供がなされたか。	3.0	他学年にも進路に関する情報を伝えることができた。
特別活動	17 生徒会の主体的活動を活発にさせるために適切な指導助言に努めたか。（自浄能力の育成）	3.1	福風新聞の発行に向けて生徒主体の活動とし，助言を与えることができた。
進路指導	22 ３年間を見通した計画的なキャリア教育が行われたか。	3.1	キャリア・パスポートの活用を通して計画的な指導を実践する。
学校経営	01 教育目標や努力点は，全校職員に共通理解され，全教育活動に具現化されているか。	3.1	校内研修等で再確認する。

３　次学期（年度）に向けての取組

⑴ 全国学力・学習状況調査の分析結果を教科指導に役立てる。
⑵ 不登校生徒とその保護者に対しては，個別に適切な対応を心掛ける。
⑶ 地域住民や保護者へ学校の状況や取組をこれまで以上に丁寧に説明を行い，理解・協力を求める。